

八王子の未来を公園から

Design Hachioji's Dreams

城谷吏玖 井川勇希 尾美喬介 橋本香桜里 円谷貴美

指導教員 前田幸男 創価大学 法学部 法律学科

キーワード：コミュニティの場，多様な目的を楽しめる空間，学び，交流，防災

1. はじめに

私たちは、八王子駅南口の医療刑務所跡地に建設予定の「みんなの公園」、「集いの拠点」についての具体的な設備案を提示します。八王子市役所が施設利用の特徴として掲げている、「学び」「交流」「防災」という三つのテーマに沿って設備案を提示し、公共施設を利用する人々が多様な目的で楽しめる空間を創造します。

2. 背景

現在、八王子市役所は総敷地面積約 5ha ある医療刑務所跡地の用地取得手続きの最中であり、2021 年以降に用地を取得する予定です。今年(2019 年)の 3 月に策定された「八王子駅南口集いの拠点・整備基本計画」では、事前に募集していたパブリックコメントから、「学び」「交流」「防災」という三つの機能を取り入れた多様なコミュニティの場を建設することを決めました。具体的には、防災機能を備えた公園の中に学びを支える歴史・郷土ミュージアム、憩いライブラリと、交流を促す交流スペースが一体となった複合施設(集いの拠点)を建設することが決まっています。私たちは、完成後の「みんなの公園」をより多くの人々に利用してもらえるように、どのような公園が魅力的で、楽しんでもらえるかを考え、そのための具体的な遊具や建物の利用法などを提案します。

3. 学び

「楽しく遊びながら学ぶ」をテーマにし、公園内での様々な学びを提案します。1 目は、楽しくゴミの分別ができる音声ガイド付きの「喋るロボットゴミ箱」です。子供たちに楽しくゴミの分別をしてもらい、分別の知識や大切さを学んでもらう狙いです。



(三重県鈴鹿サーキット)

2 目は、再生可能な資源や地球に優しいエコな資源を使用した遊具を設置し、子供だけでなく大人の方にも環境について関心を持ってもらいたいという狙いです。①株式会社タイキの再生ゴムチップで作られた砂場の枠。②環境に優しいポリエチレン製の滑り台(スイコー株式会社)、リサイクルも容易にできる遊具。

3 目は、八王子市の魅力を発信するとともに八王子市の歴史や名物などの文化を学ぶという観点から、公園内のタイル・ベンチといった設置物に一つ一つ違うデザインを形どっていくという案です。イメージとしては、画像のようなマンホールのデザインです。さらに、QR コードをデザインの中に組み込み、その内容・背景について深堀りしていくことのできるようなシステムも設定していくことが良いと思われれます。また、公園内の散策を促すスタンプラリーの実施など、イベントにおいて有効活用できるものでもあると考えます。



4. 交流

公園を利用する様々な人々の交流を促進するた

め、3つの提案をします。

一つ目に、大型遊具の設置です。例えば滑り台、ジャングルジム等が一体となった複合遊具、大型トランポリンを想定しています。大型遊具の利点として、一度に大人数が利用することが可能であり、主に子供同士の交流を図ることが出来ます。さらに、遊具の周りをウッドベンチで囲み、周囲に木を配置して木陰をつくり、親同士が子供を見守りながら自然と交流できる環境をつくります。また、駅周辺の公園には大型遊具がない公園が多いので、周辺公園との差別化につながると考えます。



大型遊具イメージ図

二つ目に、水遊び場の設置です。猛暑が続く近年、水遊び場の存在は手軽にクールダウン出来る場所であるだけでなく、交流の場所としての価値が高まっています。プランとして、半径10メートル前後の円形の水遊び場の導入を想定しています。また、子供同士がより楽しく遊べる工夫として、水遊び場に直結する緩やかな傾斜の滑り台の設置を提案します。

三つ目に、平坦な公園の一面を芝生で整備し、フリースペースとして利用者が自由に活用できるようにする案です。フリスビーなどのアクティビティやピクニック、お花見、ラジオ体操など、様々な人々が多目的で交流することを目的としています。また、昔遊び体験やフリーマーケット、ランゲージエクステンションなどのイベントを誘致する事を提案します。

5. 防災

私たちは「集いの拠点」を含めた「みんなの公園」がもつ避難場所としての役割はとて大きいと考えます。その理由は八王子市で特に八王子駅周辺において広域避難場所が不足しているからです。

右上の図は八王子市指定の広域避難場所を表したのですが、図中央の八王子駅や京王片倉駅周辺の

避難場所が1箇所しかなく、災害時に駅周辺の住民は比較的大きな建物の近くを通り避難しなければならないことが分かります。



出典：「八王子市ホームページ 八王子市指定緊急避難場所（広域避難場所）」

また、公共交通機関が麻痺した際の一時避難所としての利用も提案します。JR・京王八王子駅は数種類の路線のターミナル駅として利用されているため、交通機関の一時的運休などの際に滞在できるよう施設を解放することも必要だと考えます。またそれに合わせた水食料の備蓄、それを保存するための倉庫の設置も提案します。これらのことから、「みんなの公園」のテーマの1つである防災の役割は、避難場所として利用することで果たせると考えます。

6. まとめ

以上のように、私たちは八王子市の事業計画に対し、多くの人々が様々な目的で楽しめる設備案を、「学び」「交流」「防災」の三つのテーマを元に考え提案しました。八王子市における楽しい充実した空間を生み出すと考えています。

【参考文献】

八王子市役所 HP

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/006/001/002/p014488.html>

中村製作所 HP

https://www.nakamura-mfg.com/products/playing_order/

公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド

<https://www.bgf.or.jp/anasupo/anasupo029.html>

FRON HP <https://fron.tokyo/1933>